

第5 1回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 令和4年3月17日(木) 13時30分～14時

会場 新津医療センター病院 大会議室

参加者 12名 （内Zoom7名）

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・食のサポートで作成した摂食嚥下シートの手帳への活用はどうか。
摂食嚥下手帳に挟んでの使用も想定している。
現在、どの程度使用されているかは不明。
- ・手帳の発行はどうか。
新潟市が発行数を把握しているが、秋葉区では一定数の月々の発行があると聞いている。

2. 連携手帳の発展的活用

- ・新潟市で発行している医療と介護のハンドブックを参考に、ACPを手帳にどのように活かすかを考えてみたい。

訪問看護事業所

思いが変わっていても書き換えていくことが前提。

ケアマネ

土浦市のシートが見やすく作られている。ACPについての設問も柔らかく参考になるのではないか。

摂食・嚥下機能について

歯科で直接ACP関わることは少ない、検診などで飲み込みについてあるくらい。大きな物が食べれず、細かくするなど具体的なことはあるが。

医師

ACPというところのような最期を迎えたいかの議論になりがち。

その前のどのように生きるか、生きたいかを丁寧に聞くことが大切ではないか。

今後以上を踏まえた手帳の活用を考えていくこととした。

4 その他

次回は令和4年6月16日（木）13時30分より開催

会場は新津医療センター病院 西3大会議室

（感染状況によりハイブリットでオンラインも有り）

以上